

国際医療福祉大学とのワークショップ
「今後の成田市のまちづくりについて考える」

実施報告書

(1)開催概要について

- 総合計画「NARITAみらいプラン」第2期基本計画の策定過程に市民参画を図り、国際医療福祉大学の学生を対象に、若い世代の目線・立場から、本市のまちづくりに対する意見や要望を取り入れるため、下表のとおりワークショップを開催しました。
- リラックスした雰囲気の中でオープンに会話し、自由にネットワークを築くことができる空間で生み出された知識やアイデアを、計画の策定に活用していきます。

タイトル	成田市×国際医療福祉大学生 「今後の成田市のまちづくりについて考える」
目的	将来を担う若者の視点から、本市の課題や魅力について話しあうことで、市政に対する理解を深め、まちづくりに関する市民意識の醸成を図るとともに、市民の意見を集約し、次期基本計画に反映させる
開催日時	平成31年2月16日（土）13:00-16:00
場所	国際医療福祉大学
対象	国際医療福祉大学生
参加者数	22名



(2)実施方法について

- 参加者5～6人で一つのグループを形成し、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行いました。
- 各ラウンドの間には席替えタイムとして、1人（ホスト役）を残して他の全員（旅人）は自由に他のテーブルに移動します。
- ラウンドは全3回とし、第3ラウンドのテーマである「皆さんが望む、これからの成田はどんなまちですか」の中で出た意見の中で、特に印象的だったものを付箋に書き出し、グループ内で情報共有を図るとともに、全体共有として発表を行いました。



第1ラウンド

「成田に住んでいて、感じることや思うことは何ですか」のテーマについて話し合う。

第2ラウンド

第1ラウンドの意見等を踏まえ、「他にはない、成田らしさにどのような可能性を感じますか」のテーマについて話し合う。

第3ラウンド

第2ラウンドの意見等を踏まえ、「皆さんが望む、これからの成田はどんなまちですか」のテーマについて話し合う。

振り返り

第3ラウンドの内容を振り返り、特に印象的だったものを付箋に記入し、グループ内で情報共有を図るとともに、全体共有として発表を行う。

(3)グループ意見

○全グループの意見

- ・家賃やバスなどに、学割を適用させて欲しい
- ・ショッピングモールやライブハウス、駅ビルなど、賑わいを作るためにも若者向けの施設を充実させて欲しい
- ・看護等に触れる機会が増えるよう、大学で小中高向けの実験イベント（職業体験）を行えば
- ・駅から成田山までの行き方がわかりにくいため、対策が必要
- ・成田市はすでに医療施設が充実していると思うが、本大学の付属病院の開院後、国内のみではなく外国の方も海外から診察に訪れるようになれば、医療従事者が増え、安心して住み続けられるまちになると思う
- ・観光客だけではなく、市民が住みやすいまちにするため、電車やバスの本数を増やせば
- ・成田への交通アクセスが充実している一方、成田市内の交通の整備は充実していないように感じるため、モノレールを作るなどの整備ができれば、さらに住みやすくなると思う
- ・公津の杜の中心地ではデイサービスをよく見かけ、高齢者の住まいについては充実していないと感じた。サポート付きの高齢者住宅の整備を行い、地域全体で高齢者の方を見守れる施設があれば
- ・オリンピック・パラリンピックで盛り上がった機運を下げないためにも、空港近くにスタジアムを建設し、サッカーなどのプロチームを作ることで、地域で一つのことに對して応援できる環境ができればいいと思う

○市政に関するご意見・ご要望（一部抜粋・原文ママ）

- ・バスの運行本数を増やして欲しい
- ・今回のように、成田市の今後について考える機会を増やすことで、取組みに対する姿勢が変わってくるといった。今回出た多くの意見や考えをできる限り多く、前向きに検討してほしい
- ・女性が結婚・子育て期間も仕事辞めずに働き続けられるよう、保育施設の充実をお願いします
- ・空港を中心とした町おこしのイメージが強く、観光以外の場所が目立っていない、着目されていないと印象があるので、市全体の町おこしができればと思います。私たちにはなかなか理解が難しいことをやってらっしゃるので尊敬します。同時に、私たちに何かできることがあれば声をかけてくれたらと思います

